

諸戸北郎博士関連 東京都水道歴史館所蔵写真集

平成 27 年 3 月

諸戸北郎博士砂防業績研究会

まえがき

諸戸北郎博士は、明治 45 年 12 月に東京市より、水源林の荒廃地復旧のため多摩川上流萩原山地区の砂防工事のための調査を委嘱された。それ以降、度々水源林に調査のため訪れており水源林に係わる多くの写真を残している。また、昭和 3 年～昭和 19 年に発刊された砂防協会の機関誌「砂防」に 7 編の東京市水源林旅行記を書いており、水源林内の荒廃状況、砂防工事や量水堰堤の状況について多くの記述がみられる。

東京都水道歴史館（文京区本郷二丁目）には、明治末期以降の東京都水道水源林を写した膨大な量の写真が所蔵されている。これらの写真は東京都水道歴史館が所蔵しているガラス乾板を電子化したものであり、地域毎、テーマ毎には分類がなされていない。

平成 26 年 12 月 25 日に東京都水道歴史館において、諸戸博士と東京都水道水源林との関係を調べる上で有用であると思われる写真 278 点を収集した。これらの写真について、種別（砂防工事関連・文化・諸戸博士）、都道府県名、地区名、地名・溪流名、撮影年月日、写真コメントなどのデータを記した写真リストを作成し、データベース化を行った。

この「諸戸北郎博士関連 東京都水道歴史館所蔵写真集」は、上記のデータベースを基に、収集写真を地域等に分類整理したものである。

これらの写真について、砂防工事と量水堰堤に関する写真は「砂防工事関連」とし、建物（学校、水源林事務所、神社など）と人物写真については「文化」として整理した。また、諸戸北郎博士が写っている写真については「諸戸博士」として整理した。

さらに、「砂防工事関連」および「文化」の写真については、撮影された地区が判明しているものを「萩原山地区」、「丹波山村地区」、「小河内村地区」、「氷川村地区」、「小菅村地区」に区分し、判明していないものを「その他」とした。

写真の収集にあたっては、東京都水道歴史館の吉田雅之企画調査責任者、吉田悠子司書にご協力いただいた。

平成 27 年 3 月

諸戸北郎博士砂防業績研究会
代表 西本晴男

諸戸北郎博士砂防業績研究会会員名簿

代表	西本 晴男	筑波大学大学院	生命環境科学研究科 環境防災学講座	教授
副代表	鈴木 雅一	東京大学大学院	農学生命科学研究科 森林理水及び砂防工学研究室	教授
	小山内信智	独立行政法人	土木研究所	土砂管理研究グループ長
	執印 康裕	宇都宮大学	農学部森林科学科	教授
	堀田 紀文	筑波大学大学院	生命環境科学研究科	准教授

○本写真集について

本写真集の各写真には原則として写真の下に、ID 番号（R○○○）と写真に関するコメント、撮影時期を記した。コメントは写真の撮影された位置と撮影対象（堰堤・荒廃地・人物・建物など）について、東京都水道歴史館の写真コメントなどをもとに、付与したものである。なお、撮影時期については、他の文献等と異なる場合はその旨を明記した。

本写真集における沢の名前については、原則としてカタカナで表記している。

「諸戸北郎博士収集写真集，諸戸北郎博士砂防業績研究会，2013」（以下、諸戸博士写真集）に掲載されている写真と同一の写真については、「【諸戸博士写真集○○○と同一写真】」

（○○○は、諸戸博士写真集における写真番号）と記した。同様に、「【砂防】口絵写真集，諸戸北郎博士砂防業績研究会，2014」に掲載されている写真についても「【「砂防」口絵写真集△△△と同一写真】」（△△△は、「砂防」口絵写真集における写真番号）と記した。



R064・シネド沢□石堰堤(施工中)(左から2人目□諸戸博士)(大正5年12月)。
【諸戸北郎博士収集写真集1010と同一写真】

ID 番号

諸戸博士写真集における写真番号



R049・ハビロ沢□石堰堤□砂防工事施工後6年目(大正9年8月)。
【「砂防」口絵写真集S39-2と同一写真】

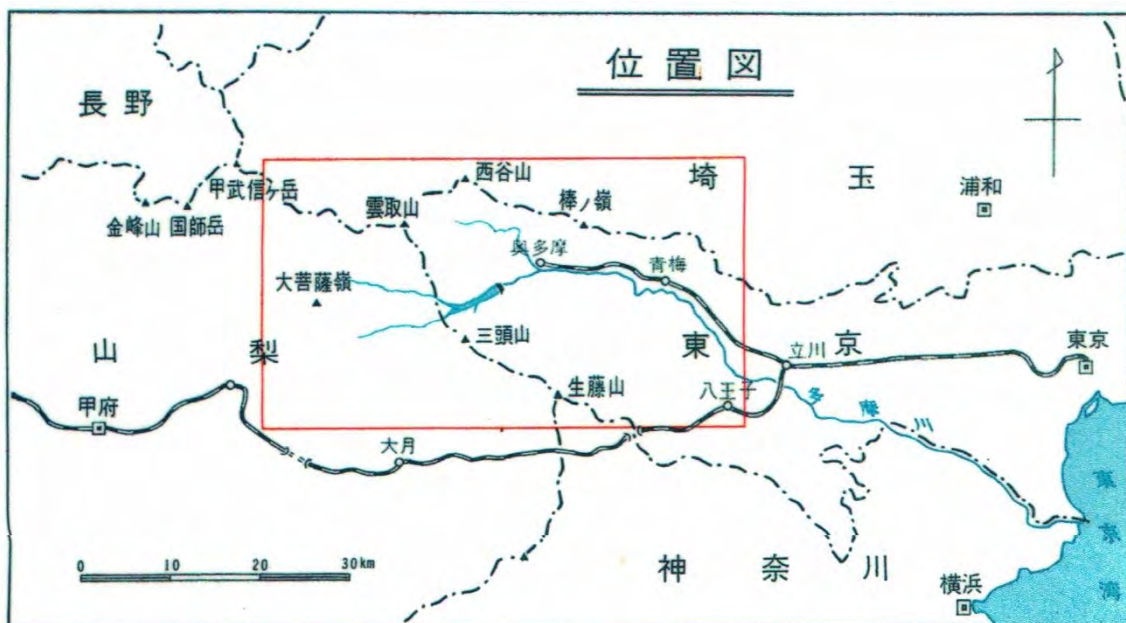
本写真集における記載例

「砂防」口絵写真集における
写真番号

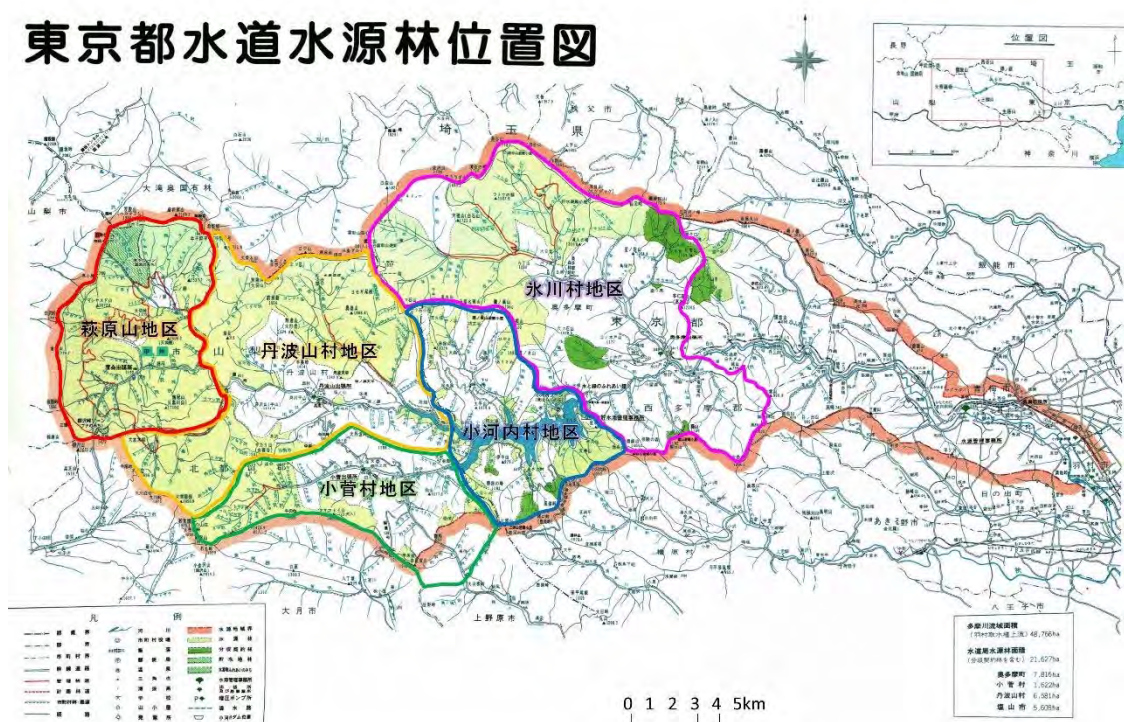
これまでの成果として本写真集も含めた4冊の諸戸北郎博士関連写真集がある。それぞれの表記方法を示す。

表 諸戸北郎博士関連写真集の表記方法

写真集名	写真例	写真の説明
諸戸博士写真集	 カネバ沢□量水堰堤□流域面積160町歩 (大正5年8月撮影)	番号は平成24年度成果品データベース番号。 キャプションは諸戸博士のアルバムより手書きの記載をテキスト化した。
「砂防」□絵写真	 s52-2□東京府西多摩郡水川村字寺地に於ける 大正十年築設の石堰堤(大正十二年撮影) 昭和12年3月第52号	番号は「s+号数+号内の順番」。 キャプションは掲載されていた内容をテキスト化した。
東京都水道歴史館 所蔵写真	 R037 ハビロ沢□16年目の復旧状況 (昭和5年5月) [東京都水道歴史館所蔵]	番号は平成26年度成果品データベース番号。 キャプションは、水道歴史館の写真コメントを基に付与した。
愛知演習林		番号は平成26年度成果品、諸戸北郎博士愛知演習林所蔵写真集番号。 キャプションは、諸戸博士のアルバムより手書きの記載を写真コメントとして付与した。



東京都水道水源林位置図



「水道水源林 100 年史，東京都水道局，2001，p. 24-25」に加筆

注) 各村界および萩原山地区の界は、大正 15 年昭和元年度東京市水道水源林事業報告(東京市水源林事務所, 1928)を参考に加筆した

目 次

まえがき

1. 砂防工事関連	1
1.1 萩原山地区	2
1.1.1 落合	3
1.1.2 ハビロ沢	12
1.1.3 シシネド沢（ハビロ沢支流）	28
1.1.4 カネバ沢	35
1.1.5 高橋川	47
1.1.6 柳沢川	53
1.1.7 ヒノキオ沢	55
1.1.8 馬場沢	57
1.1.9 犬切沢	59
1.1.10 観音滝	62
1.1.11 笠取山	63
1.1.12 笠取沼	64
1.1.13 雁（ガン）峠	65
1.1.14 オオトクサ沢	66
1.1.15 大木賊沢	67
1.1.16 その他	68
1.2 丹波山村地区	70
1.2.1 センスイ（泉水）谷	71
1.2.2 牛首谷	73
1.2.3 サカサ沢	74
1.2.4 塩の山	75
1.2.5 その他	76
1.3 小河内村地区	77
1.3.1 ありさめ	78
1.3.2 雨乞場	82
1.3.3 モクボ（茂久保）谷	83
1.3.4 天神山	85
1.3.5 ミズクボ（水久保）沢	88
1.3.6 サイグチ	91
1.3.7 ヌタクボ谷	93
1.3.8 手沢	94
1.3.9 釜土谷	95

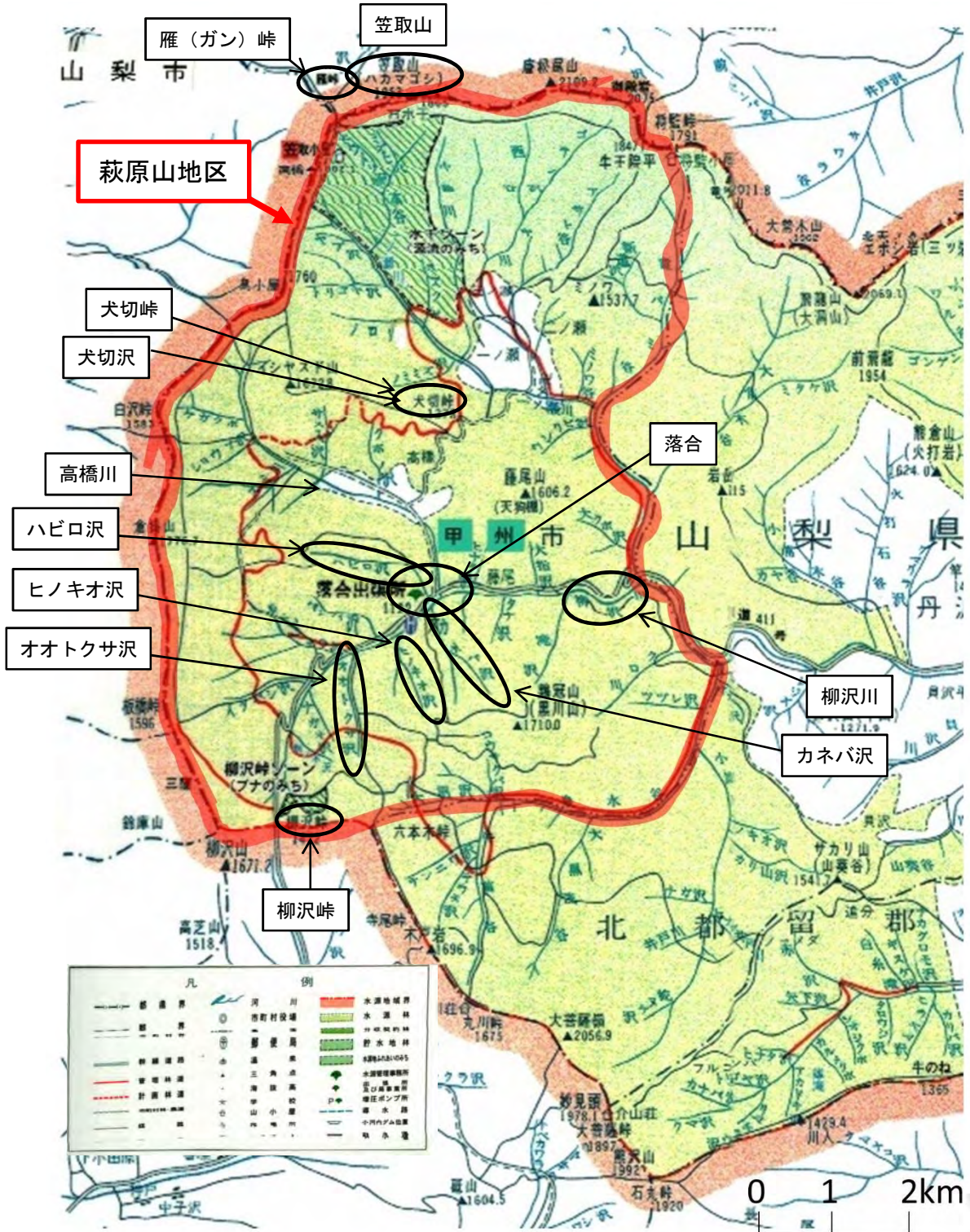
1.4 氷川村地区	96
1.4.1 シオジ（塩地）谷	97
1.4.2 寺地	102
1.4.3 カツラ谷	103
1.4.4 雲取山	104
1.4.5 氷川	105
1.5 小菅村地区	107
1.5.1 大菩薩峠	108
1.5.2 山見川	110
1.5.3 余沢	111
1.5.4 橋立	112
1.6 その他	113
1.6.1 水源林	114
1.6.2 柳沢	117
1.6.3 ミノウチ沢	118
1.6.4 ブドウ沢	119
1.6.5 犬太郎谷	120
1.6.6 二久保沢	121
1.6.7 外寄沢	122
1.6.8 御正体山	123
1.6.9 杓子山	124
1.6.10 場所不明	125
2. 文化	129
2.1 萩原山地区	130
2.1.1 落合	131
2.1.2 柳沢峠	140
2.1.3 馬場平	148
2.1.4 ヒビキ岩	149
2.1.5 その他	150
2.2 丹波山村地区	151
2.2.1 センスイ（泉水）谷	152
2.2.2 三條橋	154
2.2.3 ナメトロ	156
2.2.4 丹波山村役場	157
2.2.5 七つ石神社	158
2.2.6 野村屋旅館	159
2.2.7 その他	160

2.3 氷川村地区	161
2.3.1 氷川村	162
2.4 その他	164
2.4.1 東京府林業事務所	165
2.4.2 青木屋前	166
2.4.3 場所不明	167
2.4.4 高尾山	168
3. 諸戸博士	169
3.1 萩原山地区	170
3.2 丹波山村地区	177
3.3 小河内村地区	181
3.4 氷川村地区	184
3.5 小菅村地区	187
3.6 御岳	189
3.7 場所不明	190
4. 収集写真一覧表	191
5. 雑誌「砂防」における東京都水道水源林調査に関する 諸戸博士の論文	204
5.1 概要	205
5.2 調査行程	206
5.3 論文の本文	213
5.3.1 砂防第8号 昭和四年夏の東京市水道水源地旅行日記	213
5.3.2 砂防第39号 東京市水道水源林視察旅行記	226
5.3.3 砂防第42号 東京市水道水源林視察旅行記	235
5.3.4 砂防第49号 昭和十一年秋の多摩川水源地旅行日記	242
5.3.5 砂防第54号 昭和十二年初夏の東京市水道水源地旅行日記	251
5.3.6 砂防第86号 東京市水源林視察旅行記	268
5.3.7 砂防第92号 昭和十八年東京都水源林視察旅行記	282

1. 砂 防 工 事 関 連

1.1 萩原山地区

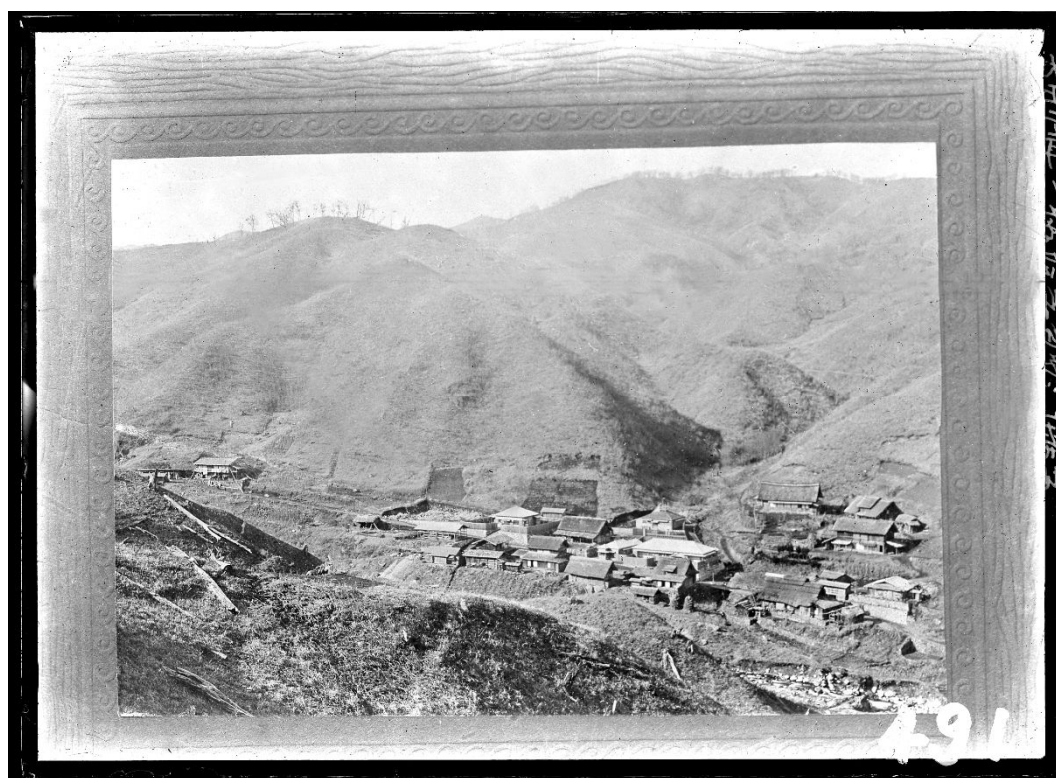
萩原山地区の中で写真の撮影位置の特定が可能な溪流・地域を黒丸で囲った。なお、馬場沢、観音滝、笠取沼、大木賊沢については位置の特定ができなかった。



萩原山地区 写真撮影位置図

「水道水源林 100 年史，東京都水道局，2001，p. 24-25」の地図に一部加筆

1.1.1 落合

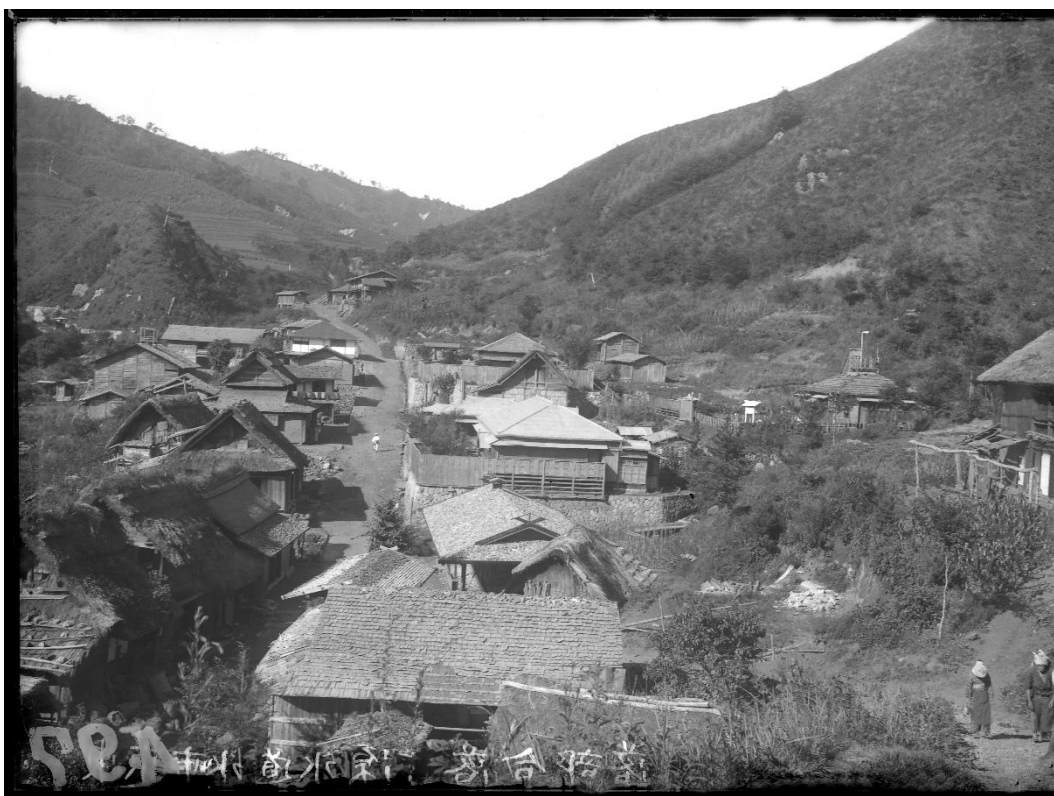


R001 落合附近の状況(大正 2 年)

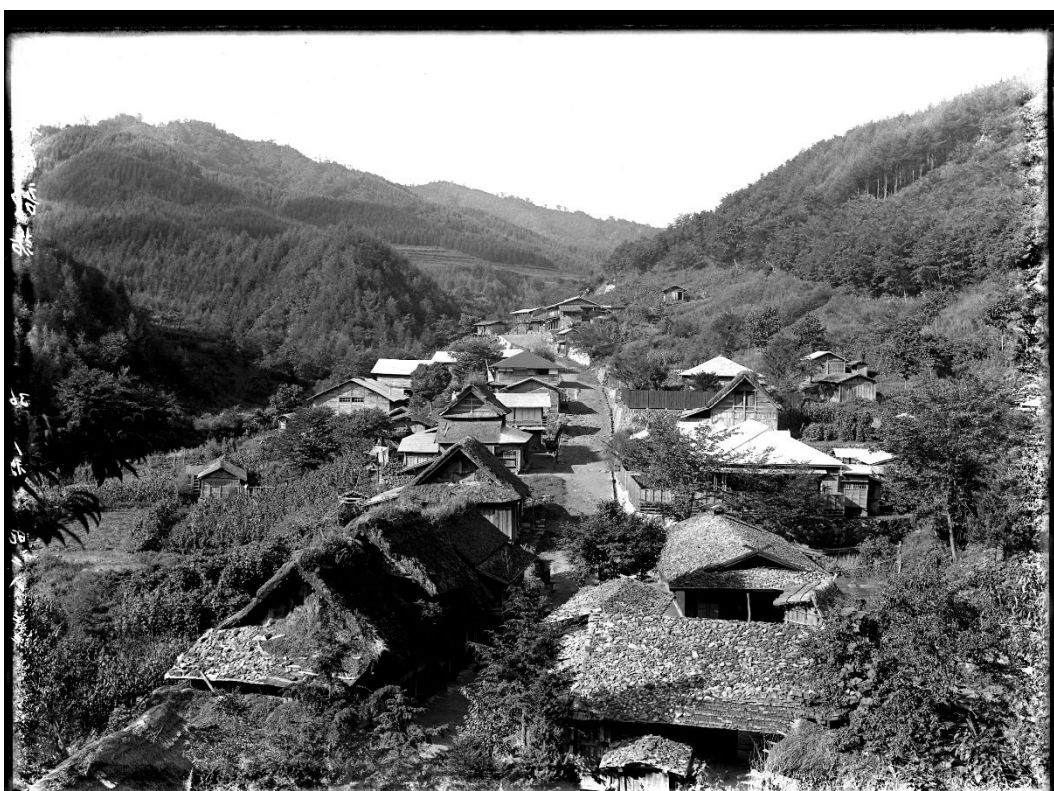


R002 落合集落の状況(大正 15 年)

(注) 水源林 80 年の歩み(東京都水道局, 1982)にある口絵写真では大正 2 年撮影と記載



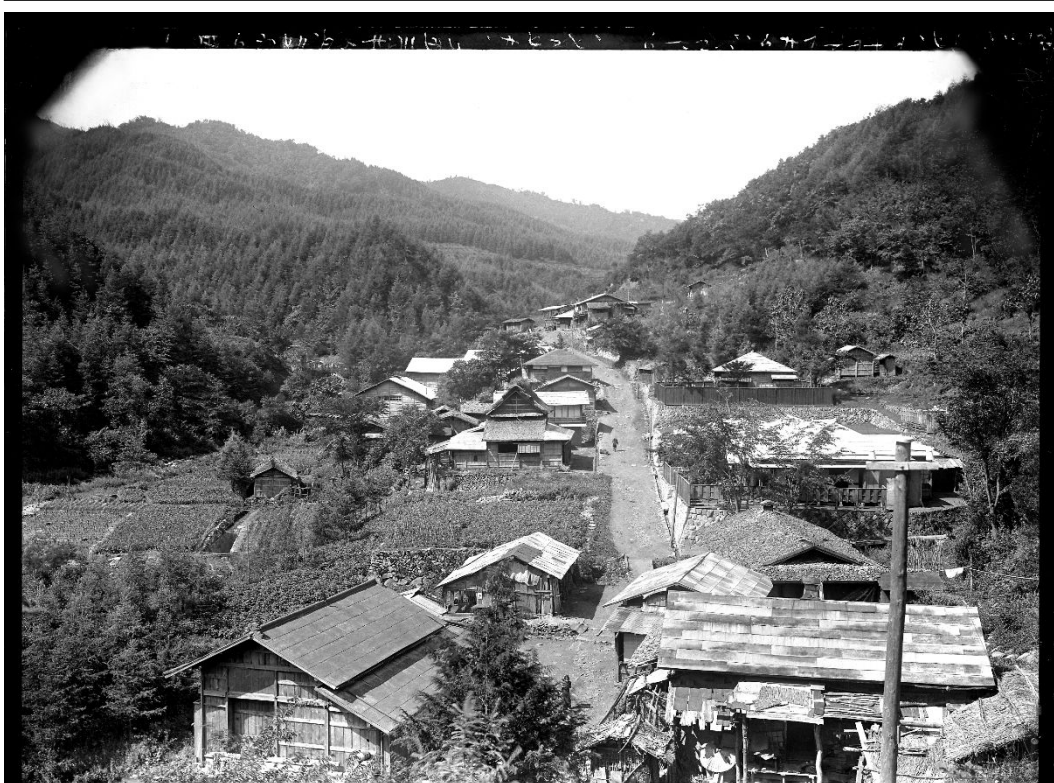
R006 落合集落(撮影時期不明)
(注)R002 と R004 の間に撮影されたと思われる。



R004 落合集落 昭和2年の状況(昭和2年8月22日)



R003 落合集落 祭(昭和2年5月21日)
(注)R004~R005の間に撮影されたと思われる。



R005 落合集落 昭和15年(植付27年目)の状況(昭和15年)

R002、R003、R006 の写真の撮影時期についての考察

R002～R006 の写真の山地や家屋の状況から撮影時期について考察した。写真中の丸印は同一の建物である。



R002 大正 15 年撮影
注) 大正 2 年撮影の可能性あり

R002 は、東京都水道歴史館の写真コメントでは、「大正 15 年撮影」とあるが、水源林 80 年の歩み(東京都水道局, 口絵写真, 1982)では大正 2 年撮影と記載されている。

大正十五年昭和元年度東京市水道水源林事業報告(東京市水源林事務所, 1928, p.17)によれば、当地区は大正 2 年から造林が始められた。R002 の背後地がはげ山であることから、砂防工事の施工前もしくは施工直後と考えられる。



R006 撮影時期不明
(注) R002 と R004 の間に撮影されたと考えられる。

R006 は、R002 と R004 の間に撮影された写真と考えられる。

木々が R002 よりも繁っていることや、家屋の数が R002 よりも多いことから、R002 よりも後年に撮影されている。

また、R004 よりも木々が成長していないことから、R004 よりも前年に撮影された写真である。



R004 昭和 2 年 8 月 22 日撮影

R003 は、R004 と R005 の間に撮影された写真と考えられる。

東京都水道歴史館の写真コメントでは、「昭和 2 年撮影」とあるが、R004 と比べると写真中央の家屋(黄色い丸印)よりも手前の家屋が畑となっており、R004 よりも後年の写真である。

また、R005 よりも木々が成長していないことから R005 よりも前年の写真である。



R003 昭和 2 年 5 月 21 日撮影
(注) R004～R005 の間に撮影されたとと思われる。

本写真集 p.125 のR016 は R003 と同様の祭飾りをした集落の写真があり、「13 年 5 月 21 日」と記入されている。R003 の写真に記入された文字が擦れて、「13 年 5 月 21 日」を「2 年 5 月 21 日」と判読した可能性がある。



R005 昭和 15 年撮影



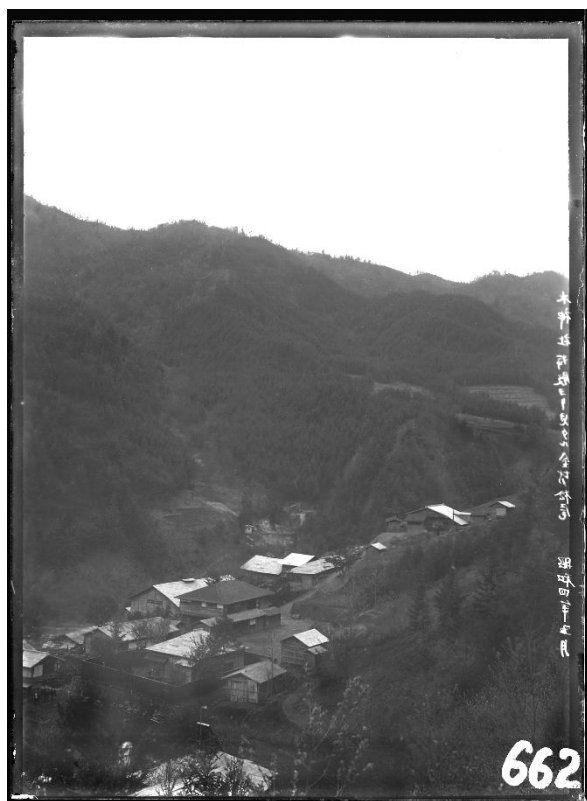
R007 落合集落(撮影時期不明)

R007 は、R005 よりも後年に撮影された写真と考えられる。

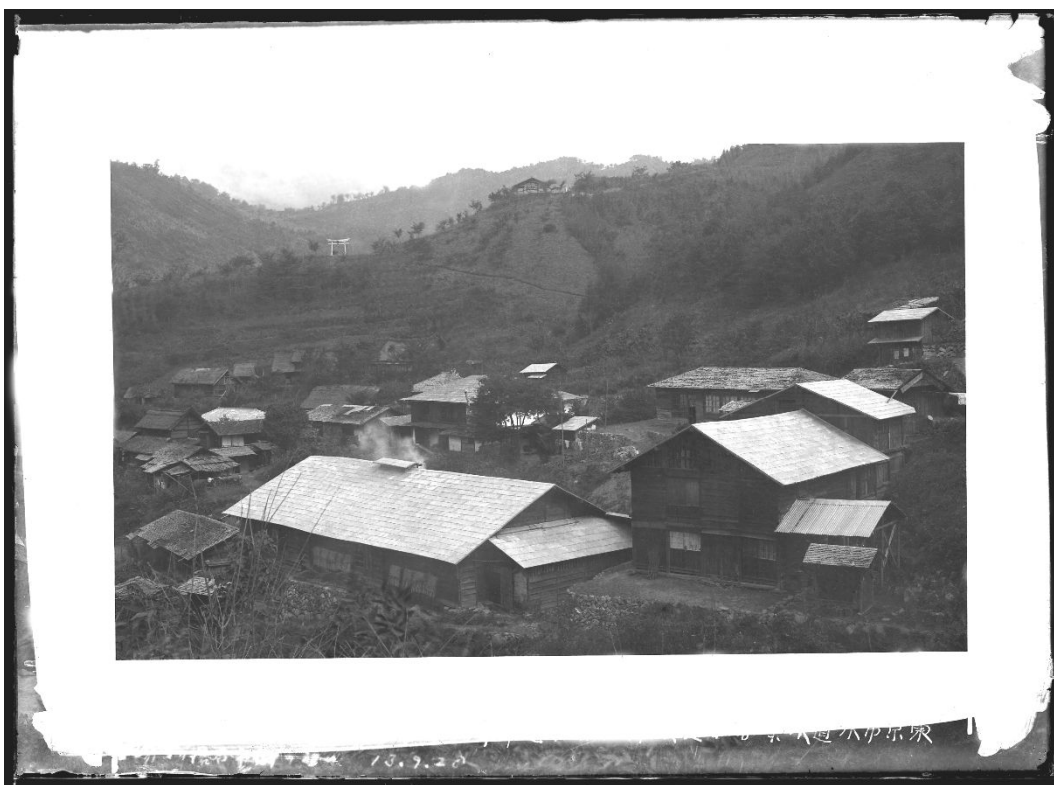
木々が R005 よりも繁っていることや、写真手前の家屋の屋根がトタン張りになっていることから、R005 よりも後年の写真である。



R008 落合集落(撮影時期不明)



R009 落合 水神社拝殿よりみたる金場・松尾(昭和4年5月)



R010 落合及び水神社奥宮遥拝所(裏焼き)(昭和5年8月)



R011 落合集落(撮影時期不明)



R012 落合気象観測所(撮影時期不明)

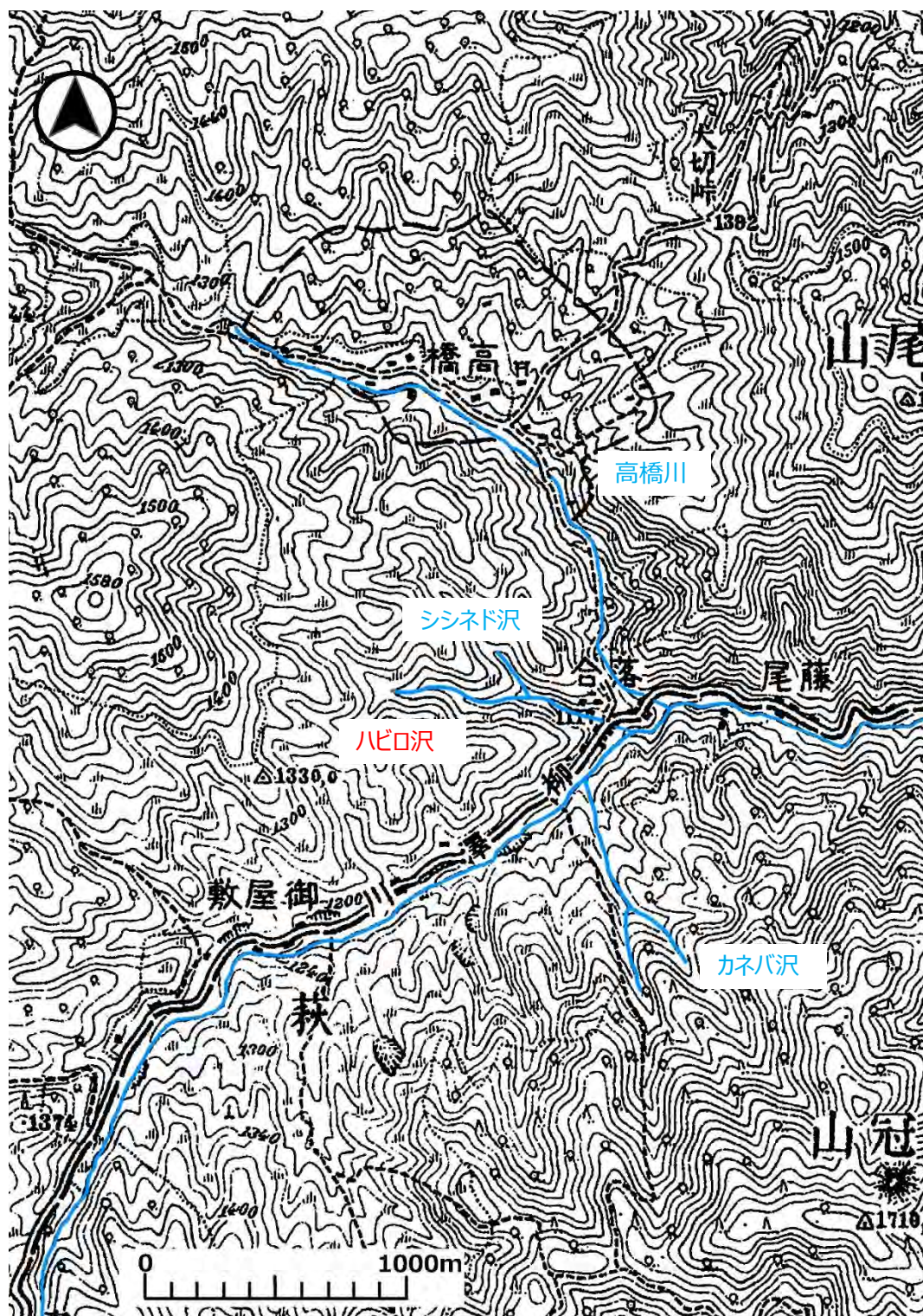


R013 落合集落付近 植付後の状況(大正 11 年 11 月 7 日)



R014 落合・鈴木屋前より 柳沢川下流の植栽後の状況(昭和 2 年 8 月)

1.1.2 ハビロ沢



落合集落 周辺図

この地図は、国土地理院発行の 5 万分の 1 地形図（丹波，明治 43 年測量）を利用した



R033 ハビロ沢 量水堰堤 大正4年施工(大正5年1月)



R034 ハビロ沢 量水堰堤 砂防講習生(撮影時期不明)



R035 ハビロ沢 量水堰堤(工事中)(昭和4年8月11日)

【砂防8号, 45p, 8月11日に関連記事あり】



R036 ハビロ沢 量水堰堤(昭和5年2月)



R037 ハビロ沢 量水堰堤(昭和 5 年 5 月)



R038 ハビロ沢 量水堰堤(昭和 5 年 6 月)



R039 ハビロ沢 量水堰堤(昭和 5 年 9 月)



R040 ハビロ沢 量水堰堤(昭和 6 年 5 月 19 日)



R041 ハビロ沢 量水堰堤(昭和 7 年 4 月)



R042 ハビロ沢 石堰堤(大正 5 年 11 月)
 【諸戸北郎博士収集写真集 141 に大正 8 年撮影の写真あり】
 【「砂防」口絵写真集 S05-1 と同一写真】



R043 ハビロ沢 石堰堤 復旧 10 年後(大正 14 年 8 月)



R044 ハビロ沢 石堰堤 復旧 10 年後(大正 14 年 9 月)



R045 ハビロ沢 石堰堤 復旧 12 年後(昭和 2 年 8 月)



R047 ハビロ沢 奥石堰堤と崩れ(昭和 15 年 10 月 17 日)



R048 ハビロ沢 石堰堤 大正4年施行(大正5年4月)
 【諸戸北郎博士収集写真集 1015 (大正5年11月) と同一写真】
 【「砂防」口絵写真集 S39-1 と同一写真】



R049 ハビロ沢 石堰堤 砂防工事施工後6年目(大正9年8月)
 【「砂防」口絵写真集 S39-2 と同一写真】



R050 ハビロ沢 石堰堤 砂防工事施工後 6 年目 (大正 9 年 8 月)



R051 ハビロ沢 石堰堤 砂防工事施工後 7 年目 (大正 10 年 7 月 22 日)

【諸戸北郎博士収集写真集 1005 (撮影時期不明) は本写真以前のものと推定される】



R052 ハビロ沢 石堰堤 砂防工事施工後 7 年目 (大正 10 年 7 月 25 日)



R053 ハビロ沢 石堰堤 (撮影時期不明, 写真に「10 年」の文字あり)



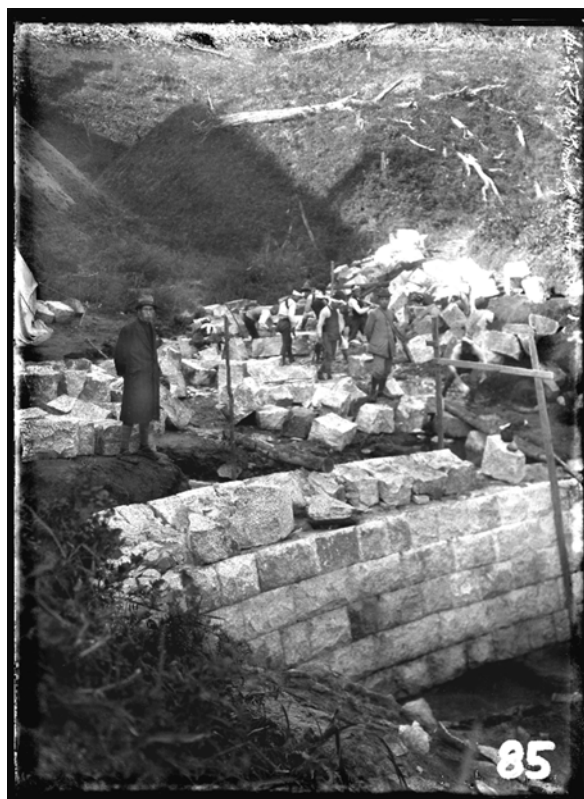
R054 ハビロ沢 石堰堤 砂防工事施工後 13 年目(昭和 2 年 8 月)



R055 ハビロ沢 石堰堤 (撮影時期不明)



R056 ハビロ沢 石堰堤 砂防工事施工後 21 年目(昭和 10 年 8 月 20 日)



R057 ハビロ沢 石堰堤(施工中)(大正 5 年 11 月)



R058 ハビロ沢 山腹状況(大正 3 年)



R059 ハビロ沢 山腹状況 大正 3 年植付
(撮影時期不明, 写真に「7 年 1 月 22 日」の文字あり)



R060 ハビロ沢 山腹状況 植付後 8 年目(昭和 10 年 7 月 22 日)



R061 ハビロ沢 山腹状況 大正 3 年植付
(撮影時期不明, 写真に「5 年 9 月 13 日」の文字あり)



R062 ハビロ沢 山腹工(大正 5 年 11 月)



R063 ハビロ沢 大正 3 年植付地(撮影時期不明)